

沖縄南部地域の命と暮らしを守る
道づくり促進に関する要望書

令和5年5月

(沖縄県)

南 部 市 町 村 会
一 般 財 団 法 人 南 部 振 興 会
南 部 東 道 路 整 備 促 進 期 成 会

令和5年5月17日

様

南 部 市 町 村 会
会 長 宮 里 哲

一般財団法人南部振興会
理事長 宮 里 哲

南部東道路整備促進期成会
会 長 古 謝 景 春

沖縄南部地域の命と暮らしを守る道づくり促進に関する要望

平素、沖縄県南部地域の道路網の整備促進に鋭意御努力いただいておりますことに対し、深く感謝と敬意を表するものであります。

さて、沖縄南部地域の命と暮らしを守る道づくりと観光振興など経済活動の活性化を促進するため、その基盤である道路網の早期整備が望まれており、次の事項の実現方について、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

一、那覇空港自動車道（小禄道路）の整備推進について

那覇空港自動車道は、那覇空港と沖縄自動車道を結び、南部地域における主要幹線道路として、当該地域の交通渋滞の緩和をはじめ、利便性の向上、産業振興の発展に寄与するとともに、沖縄本島における陸上交通の骨格軸を形成し、沖縄本島内の各拠点間の定時性・速達性を確保するとともに、観光振興にも大いに貢献するものと期待を致しております。

これまでも、南風原道路並びに豊見城東道路が、全線4車線開通し、地域の利便性向上、産業の発展に大きく寄与しているところですが、近年、当該地域の開発が目覚ましく、交通渋滞の緩和、さらなる地域の振興、発展の為には、那覇空港へ接続する小禄道路の早期整備が、重要かつ不可欠となっております。

つきましては、引き続き小禄道路の整備を推進していただきたい。

一、沖縄西海岸道路(那覇北道路)の整備推進について

沖縄西海岸道路は、那覇港などの物流拠点と沖縄本島西海岸の各拠点を連絡し、物流の効率化、産業振興を図るとともに、国道58号をはじめとする西海岸地域の交通渋滞緩和、さらには、那覇空港へのアクセス性向上による沖縄県の観光振興を支援する道路として、大きく期待されております。

これまでも、豊見城・糸満道路をはじめ、那覇西道路、浦添北道路などが開通し、地域の渋滞緩和、産業振興へ寄与しているところではありますが、さらなる物流の効率化、産業振興を図るためには、県内最大の物流拠点となっている那覇港周辺部において、現在事業中の那覇北道路の早期整備が必要不可欠であります。

つきましては、那覇北道路の整備促進を図るとともに、那覇新都心地区から那覇北道路へアクセスする上之屋道路の早期供用に向け整備を推進していただきたい。

一、高規格道路・南部東道路の整備促進について

南部東道路は、沖縄本島南部の東地域の世界遺産「斎場御嶽」、神々の島「久高島」等、多くの観光拠点を有する南城市から那覇空港自動車道に繋がる高規格道路で、県都那覇市や那覇空港さらに、中・北部地域へのアクセス性向上が図れるとともに、時間距離の短縮や定時・定速性が確保され、観光産業や各種物流面の利便性の向上、経済活動の活性化等、南部圏域の振興を支援する重要な道路であります。

また、令和3年3月には、一部区間が供用開始されたところであるが那覇空港自動車道への接続も含め、今後なお一層、供用に向け整備を促進していただきたい。

つきましては、佐敷つきしろ地区以東への延伸実現に向け、引き続きご配慮いただきたい。

一、国道329号与那原バイパス・南風原バイパス・西原バイパスの整備推進について

国道329号は、沖縄本島南部地域の東海岸と県都那覇市を結ぶ主要幹線道路ですが、近年当該地域の発展、人口の増加もあり、慢性的な渋滞が生じており、令和4年3月には、与那原バイパスの全区間暫定供用が開始されたところであるが、大型MICE施設の建設が決定されており、那覇空港から大型MICE施設への更なるアクセスが必要不可欠です。

当該バイパスの開通は、南部地域の東西を結ぶ大動脈として、東海岸地域の交通渋滞の緩和はもとより、地域の活性化を図り、沖縄県の均衡ある発展に寄与する道路として、大きく期待されております。

つきましては、南部地域の幹線道路網を形成するとともに、沖縄の玄関口である那覇空港や県都那覇市へのアクセスルートとなる与那原バイパス、南風原バイパスの完成整備を推進していただきたい。

また、西原バイパスについては、南部地域と東海岸の中北部地域間の交通円滑化を図るため、早期整備を推進していただきたい。

一、国道331号（知念字具志堅～山里）の改良について

南城市内の国道331号は、世界遺産である斎場御嶽やおきなわワールドなど、南部一帯を観光するレンタカーや観光バスの利用者が年々増えている状況にあります。

しかしながら、当区間の路線（知念字具志堅～山里）においては、急カーブが連続する区間で、車両同士の接触事故、転倒や若者が運転するバイクがカーブを曲がりきれずに崖下へ転落する人身事故も発生しております。

つきましては、交通安全の確保を図る観点から線形改良やバイパスの整備等が必要であり、早期に整備していただきたい。

一、国道507号（八重瀬道路及び仲井真津嘉山線）の整備推進について

国道507号は、八重瀬町の島尻教育事務所付近までの区間は都市計画道路として決定し、整備事業が推進され、津嘉山バイパスについては、平成26年4月に全線供用され、八重瀬道路（東風平から具志頭までの区間）については、令和6年の完成供用を目指しているとのことであるが、東風平地内の国道507号と県道77号線との交差点は、交通量が多く、朝夕問わず渋滞しているため歩行者の安全性確保と無電柱化及び自転車道路の整備を含めた早期整備が必要であります。

また、国道507号仲井真津嘉山線は、平成5年に都市計画が決定したが、一部区間（津嘉山自動車学校前から那覇糸満線までの区間）においては、未だ事業決定がなされておらず、直近の道路交通センサス（H27）においても22,420台/日と非常に交通量が多く、交通渋滞が発生している状況にあり早期事業化を図る必要があります。

一、防災・減災、国土強靱化について

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進するとともに、対策期間完了後においても国土強靱化に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保して継続的に取り組んでいただきたい。

一、災害時等の対応における体制強化について

激甚化・頻発化する大規模自然災害の脅威・危機への対応や沖縄振興に資するため、沖縄総合事務局の体制の充実・強化をしていただきたい。

南部地域内道路網整備計画 (構想) 図

